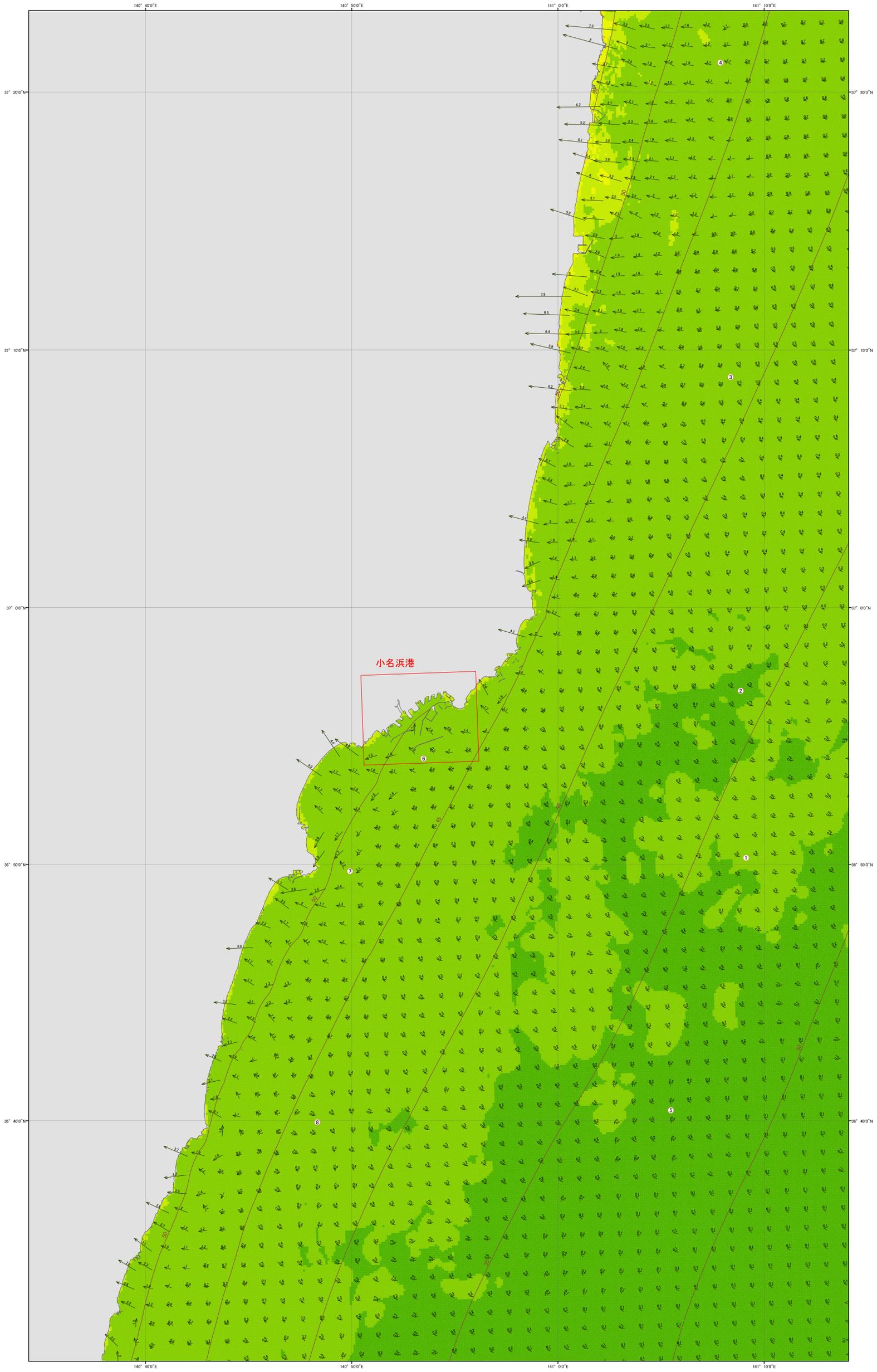


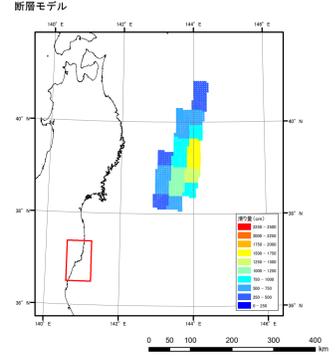
計算条件：最高水面（零位）
 隆起量：平均 -0.01m
 Zo：0.84m
 備考：本図のシミュレーション結果は、震源の位置、規模、細かな地形などの影響により、実際のものとは異なることがある。

赤枠内には、さらに詳細な港湾の津波防災情報図があります。



凡例

- 水位上昇(+10cm)となる等時線[分]
- 最大水位上昇
 - 5m~
 - 3~5m
 - 2~3m
 - 0.5~2m
 - 0.5未満
- 経時変化図出力点
(図上の位置における津波の挙動を別図の経時変化図で示す。)
- (R) 水位・流向・流速経時変化図
- 進入時最大流 (knot)
 - 3 knot
 - 2 knot
 - 1 knot
- 津波の到達時間は、水位が最高水面から10cm変動した時点を示している。
- 流向、流速については、陸岸から概ね500m以上離れた地点から表示した。
- 防護施設は、津波の越流と同時に破壊されるものとして計算している。



本断層モデルは、内閣府の『首都直下地震モデル検討会』（平成25年12月19日発表）により公表されたものである。



○ 本図の作成にあたっては、「津波解析支援GISシステム (ArcGIS 10 対応)」を使用した。
 ○ 本図の作成にあたっては、以下の資料を使用した。
 ・海上保安庁が保有する水深データ

作成機関：海上保安庁 防災情報制作部
 制作年度：平成29年12月
 制作者：佐藤 浩二 (初版)
 制作場所：東京海上保安庁 防災情報制作部